

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年							2025年										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月 ~5日	10月 ~12日
カンピロバクター	50	39	41	50	50	37	36	18	14	38	22	23	36	38	43	27	4 (5)	7
病原性大腸菌	76	83	70	86	49	46	33	23	107	90	91	71	93	78	97	83	12 (15)	14
腸管出血性大腸菌	2	1	6	2	0	1	1	0	0	1	0	2	3	3	2	0	0	1
サルモネラ	8	12	29	13	12	7	6	1	3	8	3	6	11	12	11	11	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	21	11	17	24	5	6	4	14	15	6	8	9	16	8	28	10	5 (6)	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	8	6	21	12	8	13	9	9	14	13	9	11	5	16	10	1	1
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	3	1	5	1	2	0	1	0	3	2	1	1	1	2	2	2	1	0
ロタウイルス	1	0	0	0	0	0	0	2	8	9	10	1	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	0	0	1	3	4	4	2	1	1	0	0	0	0
ノロウイルス	0	1	1	1	0	0	0	0	11	37	10	6	2	2	0	3	0	0

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和7年第41週(10月6日～10月12日)

#### 2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	7	結核	7	2		3		1		1
三類	0	発生なし	0							
四類	5	日本紅斑熱	2			2				
		レジオネラ症	3	2					1	
五類	72	急性脳炎	1					1		
		梅毒	7		1	1		5		
		水痘(入院例)	1	1						
		百日咳	63	3	22	2		17	6	13

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市    西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町    北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

## 週報③

# 広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター 広島市感染症週報

令和7年41週(10月6日～10月12日)

### ■コメント

#### 1 RSウイルス感染症

定点当たり2.36人の報告があり、増加しています。生後6か月以下の乳児、特に生後1か月未満では、重症化しやすく注意が必要です。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

#### 2 インフルエンザ

定点当たり0.86人と、増加傾向です。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第41週に1件の報告があり、今シーズンの累計は3件となりました。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

#### 3 マイコプラズマ肺炎

定点当たり4.17人の報告があり、多い状況が続いています。手洗いの励行、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

#### 4 流行性角結膜炎

定点当たり3.00人の報告があり、例年と比べて多い状況が続いています。手洗いの励行、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

### ■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間	発生記号	急増減	増減	微増減	横ばい	備考
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	2305	65.86	/	↑	小児科	突発性発しん	11	0.50	0.25		↑	↑	↑		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
	インフルエンザ	30	0.86	1.69	↑		ヘルパンギーナ	6	0.27	0.60		↑	↑	↑		前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
	新型コロナ(COVID-19)	100	2.86	/	↑		流行性耳下腺炎	-	-	0.02						前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
小児科	RSウイルス感染症	52	2.36	0.26	↑	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-						ほとんど増減なし
	咽頭結膜熱	5	0.23	0.36			流行性角結膜炎	24	3.00	0.38	↑					報告数が少數の場合などは、発生記号を記載していません。
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	2.14	1.14	↑		細菌性結膜炎	-	-	-						急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)
	感染性胃腸炎	87	3.95	2.21	↑		無菌性結膜炎	-	-	0.03						35
	水痘	10	0.45	0.14		基幹	マイコプラズマ肺炎	25	4.17	1.13	↑					小児科定点数
	手足口病	14	0.64	1.33			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-						8
	伝染性紅斑	37	1.68	0.03	↑		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-						基幹定点数
																(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

### ■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	98	50歳代・推定感染地域:国外
5	急性脳炎	1	6	10歳未満
5	梅毒	5	124	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人、50歳代・1人
5	百日咳	17	961	10歳未満・5人、10歳代・3人、20歳代・2人、30歳代・3人、50歳代・3人、70歳代・1人

